

平成 26 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
代 表 者 名 会長、社長兼 CEO 窪田 良
(コード番号：4589 東証マザーズ)
問 合 せ 先 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
日本事務所 ディレクター 須賀川 朋美
(TEL：03-5789-5872 (代表))
代 理 人 ベーカー&マッケンジー法律事務所 (外国法共同事業)
弁護士 高橋 謙 (TEL：03-6271-9900)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2014年12月期第2四半期(累計)業績予想の修正(2014年1月1日～2014年6月30日)

(単位：1株当たり金額を除き、千円ドル(千円))

	提携からの収益	営業利益	税引前当期 純利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	29,683 (3,008,668)	401 (40,645)	208 (21,082)	127 (12,872)	0.01 (1)
今回発表予想 (B)	19,632 (1,989,899)	319 (32,334)	504 (51,085)	125 (12,670)	0.00 (0)
増減額 (B-A)	-10,051 (-1,018,769)	-82 (-8,311)	296 (30,003)	-2 (-202)	-0.01 (-1)
増減率 (%)	-34%	-20%	142%	-2%	-100%
(ご参考) 2013年12月期 第2四半期実績 (累計)	27,003 (2,737,024)	5,643 (571,975)	5,675 (575,218)	3,691 (374,120)	0.08 (8)

(注)括弧内に表示されている金額(千円、ただし1株当たり金額に関しては、円)は、便宜上、2014年6月30日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル=101.36円で換算された金額であります。

修正の理由

提携からの収益 収益合計の減少は、個別プログラムにかかる費用の減少と相関性があり、純利益に対して影響を及ぼしません。2014年上半期における収益合計は、予想された29.7百万米ドル（3,008.7百万円）を10.1百万米ドル（1,018.8百万円）下回り、19.6百万米ドル（1,989.9百万円）でした。かかる収益の予想数値と実績数値との差異のうち約10百万米ドルについては、「エミクススタト塩酸塩」プログラムに関連する費用の減少とほぼ同様の差異が収益に生じたため、結果として純利益に対して影響を及ぼしませんでした。2014年5月9日付のプレスリリースに記載されたとおり、当社は、FDAの提案に基づき、「エミクススタト塩酸塩」に関する臨床第2b/3相試験であるSEATTLE試験（The Safety and Efficacy Assessment Treatment Trials of Emixustat Hydrochloride study）の12か月時点での中間解析を実施しないことになりました。その結果、中間解析を含む臨床試験活動のスケジュールが変更され、2014年上半期における収益および費用は予想数値を下回りました。上記以外の収益合計に関わる予想数値と実績数値との差異は、緑内障プログラムに関連するものです。

営業利益 営業利益における予想数値と実績数値との差異は、緑内障プログラムの実施結果によるものです。

税引前当期純利益 予想数値を0.3百万米ドル（30.0百万円）上回った税引前当期純利益は、予想数値を上回った受取利息および予想数値を下回った外国為替費用に起因するものです。

当期純利益および1株当たり当期純利益 予想されたよりも高い米国税率の影響で、当期純利益は予想数値を0.002百万米ドル（0.2百万円）下回りました。1株当たり当期純利益は、予測数値を0.01米ドル（1円）下回りました。

2014年通期の収益予想 臨床第2b/3相試験であるSEATTLE試験に関連する活動のスケジュールの変更に関する収益および費用の差異には相関性があるため、2014年通期の純利益および1株当たり純利益に対して影響を及ぼしません。なお、現時点において、2014年通期の収益および費用に対する潜在的影響は明らかではないため、2014年通期の収益予想は修正していません。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上